

みどりの食料システム戦略の推進

農林水産省では、令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、「みどりの食料システム戦略」を策定しました。同戦略に係る取組は秋田県内でも着々と広がっており、今回はその中から「みえるらべる」、「みどり戦略学生チャレンジ」の取組についてご紹介します。

みえるらべるとは？

生産者の環境負荷低減の取組を星の数で分かりやすく表示する等級ラベルです。

「みえるらべる」によって、環境にやさしい農産物が「みえる」「えらべる」ことから「みえるらべる」と愛称を決定しました。

等級ラベルの例



※東北農政局 緑の食料システム戦略啓発キャラクター『みっちゃん』



「みえるらべる」
詳しくは[こちら](#)



(農) 中仙さくらファーム (大仙市) (米)

令和5年から化学農薬・化学肥料の使用低減に取り組み、同法人が生産したお米は温室効果ガス削減にて星3つを取得しました。



みえるらべるが表示されたお米が道の駅なかせん(大仙市)にて販売されています。

NEW!

令和8年3月から畜産物(牛乳乳製品及び牛肉)も実証販売開始！



みどり戦略学生チャレンジとは？

大学生や高校生等の個人・グループが「みどりの食料システム戦略」に関わる活動を実践するための機会として開催しています。

地方大会・全国大会の審査の結果、特に優秀な取組には農林水産大臣賞等を授与します。

秋田工業高等専門学校が全国大会で受賞！

令和8年2月に開催された第2回全国大会にて、同校の「下水処理水を活用した酒米栽培とその加工品の普及拡大を目指して～下水処理水の農業活用を当たり前の技術に」がGREEN×EXPO 2027賞を受賞しました。



第3回みどり戦略学生チャレンジの参加者を募集中！
詳しくは[こちら](#) (参加登録期間：令和8年4月15日～7月31日)



東北農政局秋田県拠点では、秋田県内の小学生～大学生までを対象とした、みどりの食料システム戦略に関する出前授業を実施中です！
[こちら](#)からお気軽にご相談ください！



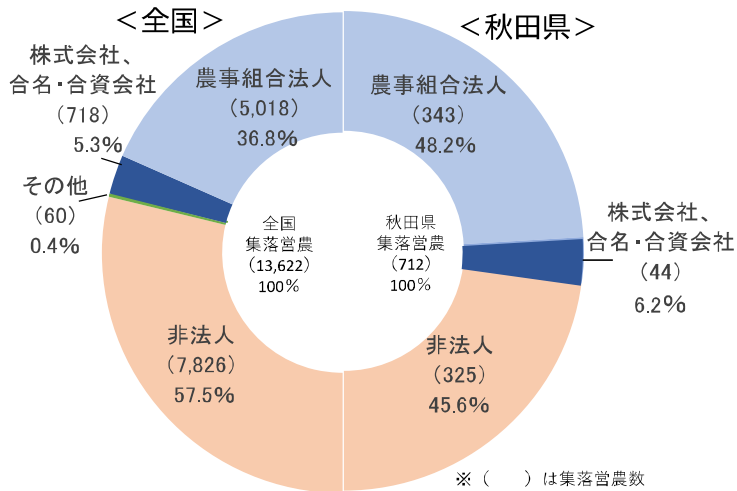
令和 8 年集落営農実態調査（秋田県）

～ 集落営農に占める法人の割合は54.4%、前年に比べ3.0ポイント上昇～

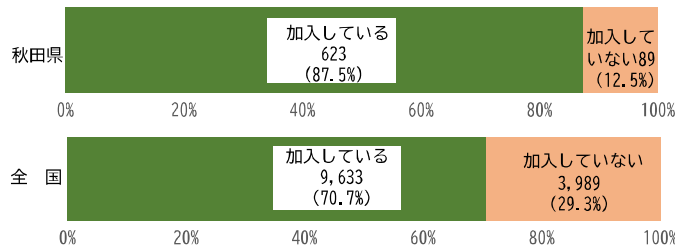
○集落営農に占める法人の割合は、全国平均で42.5%であることから、秋田県は全体に占める法人の割合が高いことになります。

○また、法人の割合が集落営農全体の半数を超える都道府県は秋田県を含め11県ありました（東北では秋田県のみ）。

組織形態別集落営農数



経営所得安定対策への加入状況別集落営農数



資料：農林水産省統計部「令和8年集落営農実態調査」

※本調査における「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいう。

お知らせ

調査員が田畑へ出向き実測調査を行っています。

農林水産省では、農業の生産基盤である耕地と農作物の作付け及び生産に関する実態を明らかにするため作物統計調査を実施しています。

調査は、東北農政局が委嘱した「専門調査員、統計調査員」がビブス（写真）着用、身分証明書を携帯し、調査対象となった田、畑の現況確認、農作物の作付状況や作柄の把握を行うため11月まで実測調査を行っています。

調査中は、近くの皆様に出来るだけお声がけするとともに、調査へのお問い合わせにも対応いたします。

なお、御不明な点等ありましたら御連絡ください。



東北農政局秋田県拠点
統計担当 伊藤、金
TEL：018-895-7303

お問合せ先

東北農政局秋田県拠点地方参事官室

〒010-0951 秋田市山王七丁目1-5 TEL:018-862-5611 (代表)

Webページ:<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/akita/index.html>

農林水産省

